

平塚市地域福祉計画（第3期）素案のパブリックコメント実施結果について

意見募集期間 平成25年10月23日（水）～11月22日（金）

意見提出者数 個人5人・団体0件

意見提出方法 メール・郵送

意見件数

1 計画全体に関する意見	3	件
2 第1章に関する意見	3	件
3 第2章に関する意見	2	件
4 第3章に関する意見	2	件
5 第4章に関する意見	0	件
6 その他の意見（計画記載外）	7	件
合計	17	件

1 計画全体に関する意見

番号	箇所	意見の概要	意見に対する考え方	修正の有無	修正内容
1	—	文章はきれいな心地よい響きのものとなっていますが、得てしてこのような構成の計画は、「理念どまり」「目標どまり」になってしまうように思う。	地域福祉計画は地域福祉に対する方向性や考え方を示した理念計画となっています。これが理念のみを示したもので終わってしまうぬよう、計画の推進にあたっては、平塚市社会福祉協議会などと十分な連携をとり、実際に地域に向くなどして市民の声を取り入れながら進めてまいりたいと考えます。	無	—
2	—	内容に重複が多いと感じる。	地域福祉を推進するうえでは、それぞれの事業が密接に関連を持つことが必要であり、また一方で一つのテーマでも切り口によって違う側面があることから、わかりやすい記載をするために必要とする範囲内で、重複する部分が必要であると考えます。	無	—
3	—	表題の「平塚市地域福祉計画（第3期）」と「平塚市地域福祉活動計画（第2期）」の違いが目次をみても全く分からない。	本計画は内容的な一体策定をしており、両計画を章立てで分けているわけではありません。両計画の位置付けについては、第1章の5、6などで説明してあります。	無	—

2 第1章に関する意見

番号	箇所	意見の概要	意見に対する考え方	修正の有無	修正内容
4	1、2、3	市民参加の必要性を率直に記載したらどうか。高齢者の増加に対しこれを支える生産年齢人口が減少していることにより、福祉にかかる資金が大変厳しい状況にあることを記載してはどうか。	1章の説明にあるとおり、社会情勢の変化によって地域の福祉課題は多様化しており、公的サービスでの対応だけでは解決が困難な問題も多くなってきています。ここでいう公的サービスとは、財政的な面ではなく、保健福祉の様々な制度や仕組みを指し、これらだけではカバーしきれない部分を市民同士の助け合いという地域の福祉力によってカバーしていくという考えが地域福祉の理念です。サービス量の確保に多くの資金が必要となる従来の福祉と、この地域福祉の考え方の双方を並行して進めることで、市の福祉力が向上するものと考えます。	無	—
5		17ページの表の題名がふさわしくない。また読むには字が小さい。	現行計画の総括部分であり、第2期計画の2つの基本目標が題名となっています。字の大きさは、対応します。	有	表内の文字サイズを大きくします。
6		それぞれの事業にどれだけの経費が使われたのか全く書いていない。市民の税金を使っている仕事であるから、事業ごとの決算額を明記すべきである。	地域福祉計画は地域福祉推進の考え方を示したものであり、個々の事業を記載したものではありません。第2期計画の総括も同様で、協働や連携については、経費化するのが困難です。また地域福祉の財源は、税金のほか寄附金や共同募金などの財源もあります。	無	—

3 第2章に関する意見

番号	箇所	意見の概要	意見に対する考え方	修正の有無	修正内容
7	1、2	地域団体の加入人数が減少していますが、減少理由の分析がなされていないと思います。	計画の策定過程で実施した地域団体へのアンケート結果により、実際にこれらの各地域団体が抱える課題を検討しています。 地域での市民参加やきずなづくりは計画の大きなテーマであり、基本目標1の中で方向性を打ち出しています。	有	各種団体が抱える課題について44ページ「5 地域の抱える課題」に追記しました。
8		地区社会福祉協議会について全く触れていない。市社会福祉協議会と地区社会福祉協議会の分担関係はどこに書いてあるのか。	地域福祉を推進するにあたり、市社協と地区社協は協働関係にあり、その部分について記載を追加します。	有	32ページの(2)地区社会福祉協議会の中に、市社協との関係性について追加します。

4 第3章に関する意見

番号	箇所	意見の概要	意見に対する考え方	修正の有無	修正内容
9	基本目標1	ボランティア養成は何を目標に、何を必須の資質として求めるのか、触れていない。	ボランティア活動に必要な資質は、ボランティアに興味を持ち、参加する気持ちであると考えます。ボランティアをする上でのスキル向上はもとより、ボランティア活動そのものに関心を持ってもらう意識を醸成するため、福祉教育などにより他人を思いやるやさしい気持ちを養うなど、福祉の裾野を広げることが地域福祉の推進にとって重要だと考えます。	無	—
10	基本目標1 <目標>2	地域福祉の啓発、教育、人材育成など「具体的な取り組み」が記載されている。しかし、これらは現状でも何らかの形で実施している内容ではないか。より新しい取り組みを期待する。	現行の計画でも同様の記載がありますが、市民参加は地域福祉を推進するうえで基本となる項目であり、本計画においても引き続き、取り組んでいくことが必要であると考えます。 本計画に記載したものは、その基本的な考え方であり、これらの考え方を基本として、市民との意見交換による現状分析や市社協との連携により進めていきます。	無	—

5 第4章に関する意見

番号	箇所	意見の概要	意見に対する考え方	修正の有無	修正内容

6 その他の意見

番号	箇所（参考）	意見の概要	意見に対する考え方	修正の有無	修正内容
11	—	パブリックコメントの募集にあたりPRが不足している。パソコンで市のホームページが見られない人もいるので、なおさら広報が重要である。	パブリックコメントの周知の方法については、平塚市パブリックコメント手続実施要項に規定される公共施設のほか、福祉会館、平塚市高齢者よろず相談センター、福祉村などの福祉関連施設にも配架しており、多くの市民の方が自由に閲覧できるよう配慮しております。	無	—
12	—	広報ひらつかのトップ面は写真が大きく掲載されているが、真に市民に伝えたいことなのか疑う。パブリックコメントの募集記事などが1面に相応しいと思う。	広報ひらつかの1面は、市政に関心の薄い市民にも興味を持ってもらい、気軽に手にとって読んでいただけるように、写真を中心にした見やすい構成としています。また、1面から3面までの3ページで特集記事を構成し、特集記事全体で多くの情報を提供するようにしています。この特集記事については、各部署からの依頼などに基づき、編集会議で決定しています。	無	—
13	—	地域福祉計画（素案）を地域の福祉を担う団体や市民にどれだけ説明し、内容の理解に努めたのか。またこれからでも自治会等地域に向き、計画内容の理解を求めてください。	策定作業の中で市民アンケートと団体アンケートを実施し、また策定委員の中に自治会をはじめとする地域団体や3名の公募委員が含まれています。地域福祉の推進には、市民の方との協働が不可欠ですので、今後地域に向きながら計画の周知や意見交換を行っていきます。	無	—

番号	箇所（参考）	意見の概要	意見に対する考え方	修正の有無	修正内容
14	—	この素案は、市民にパブリック・コメントを求めているにも拘らず、冊子のどこにも「パブコメを求めている」という趣旨が一言も書いていない。パブコメの送り先も、提出期限も、この冊子を見ただけでは全く分からない。	パブリックコメントの募集内容については、本編と一緒に公共施設に配架したチラシや平塚市ホームページに記載しました。パブリックコメントの募集内容は、計画本編に記載するものではありません。	無	—
15	—	率直に言って読む気が起らない、読むに値しない冊子である。きちんと読む側の立場に立って作ってもらいたい。	本計画は計画書の体裁を取りながら、地域福祉の意識を高めて行動に移していただく啓発書の一面もあります。できるだけ読んでいただけるよう、図表や写真を入れて分かりやすくすることを目指しました。	無	—
16	—	報告書の作成責任者の官職と氏名を明記すべきである。市職員の中でも責任ある立場にあるものは官職と氏名を明らかにして市民に対する責任を果たすべきである。	策定委員の名簿は、資料編に記載いたします。本計画は市及び社会福祉協議会が作成しており、作成責任者は、市長並びに社会福祉協議会会長となります。なお、作成担当部署は計画冊子の奥付に表記します。	無	—
17	—	この冊子が、コンサルタントを使っての計画書であれば、委託したコンサルタント名、この冊子作製に要した経費、あるいは要するであろう予算を冊子の最後に記すべきである。	本計画は、外部委員による策定委員会及び庁内組織で策定を進めており、コンサルタントは入っておりません。	無	—